

# ラバーシートの断裁と接着技術

## 兼 ラバー専用クリーナー・接着剤 共通取扱説明書

クリーナーはラバー全体に使用するのではなく、接着剤を塗る部分とその周辺だけを清掃するためのものです。

クリーナーは無色透明、接着剤は白色です。

作業スペースの換気に十分ご注意ください。

いつも、Alt-fetish.com をご利用くださいませ、ありがとうございます。本書では、ラバーシートの断裁と接着方法をまとめてあります。ラバー専用接着剤やクリーナーを使用する際には必ず本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

### ① 準備編

#### 場所

補修や部分的な改造でしたら別ですが、用途によってはある程度広い平面が必要です。ラバーを断裁する場所、乾燥させるためのつるす空間などが必ず必要になります。揮発性クリーナーや強烈な匂いのする接着剤を使用するため、十分換気ができることが必須条件です。

#### 材料

ラバーシート（ラテックスシート）・専用クリーナー（クリーナーはラバー全体に使用するのではなく、接着剤を塗る部分に限定して使います）・専用接着剤。これらはAlt-fetish.com で販売しています。サランラップは接着剤を塗ったあとにそこに汚れが付くのを防ぐのに使用します。

#### 道具

写真右から、ローラーカッター、ペンカッター、綿棒（クリーナーおよび接着剤に付属。ハンズに売っています）、ゴム製のゴムハンマー（ヘッドがゴム製のハンマー）、ローラー。巨大綿棒は接着剤をつけるのに使用します。ゴムハンマーとローラーはゴムの接合面を圧着するのに使用します。



### ② 断裁編

#### 切り込みから裂けるので慎重に

十分な作業スペース

貼る用途にもよりますが、元のラバーシートの大きさに合わせてできるだけ広いスペースを用意してください。写真は、長さ2

メートル、幅1メートルのカッティングボードを使用しています。



粉を落とす

ラバーの裏面と表面を確認してください。表面にツヤがあります。両面についている細かい粉を、固く絞った濡れタオルでよく落としてください。冬場など空気が乾燥しているとどんなにこすっても粉が落ちないことがあります。その場合は全体を、台所用洗剤（中性洗剤）を使って洗うとよいでしょう。



断裁

型紙に沿って丁寧にローラーカッターで切ります。鋭角の部分を断裁するときはペンカッターを使って丁寧に切り出します。細かいところや、鋭角の部分に誤って切り込みを入れないように注意してください。そこから裂ける恐れがあります。



### ③接着剤塗布編

**ホコリ、手垢を確実に落とし、塗ったら24時間乾燥させる**

※接着・乾燥の工程では火気厳禁です。タバコやガスコンロ、ストーブなど特に注意してください。ラバー、クリーナーいずれも燃えやすいので極めて危険です。

接着剤は貼り合わせ面の双方に塗る

接着剤は貼り合わせる部分の双方に塗る必要があります。貼り合わせ面の片方だけでは付きません。接着剤同士がくっつくことによって、接合されるのです。

接着面のホコリ・手垢・粉を落とす

接着剤を塗る部分に、ホコリやラバーの粉、手垢が付いていると接着してもすぐに剥がれます。したがって、接着面はこうした付

着物を完璧に落とす必要があります。ラバーの新品には細かい粉が多量に付いている場合があります、これらの粉をよく落としましょう。その前に断裁するカッターボードや、手にも付着しているはずで、カッターボード表面をよく清掃し、手も洗います。ラバーの接着面の粉を落とすには、最初に固く絞った濡れタオルでよく拭きます。乾いたら、次に専用クリーナーで、接着剤を塗る部分の手垢などの油分や目に見えないチリホコリを落とします（クリーナーはラバー全体に使用するのはではなく、接着剤を塗る部分に限定して使います）。巨大綿棒を使用して、接着剤を塗る部分にクリーナーをまんべんなく塗ります。揮発性ですので自然に乾燥します。

※クリーナー・接着剤は吸うと身体に害を及ぼしますから、作業スペースの換気をよくし、またマスク・手袋をして作業にあってください。



接着剤を塗る

綿棒で均等に塗っていきましょう。塗り幅を一定に保ちます。塗り幅は用途によってかわってきます。二枚の生地を貼り合わせる場合は貼る面と貼られる面それぞれに1

センチ幅程度塗ります。貼り合わせる部分よりも1mmから2mm程度はみ出させます。パッチを当てる場合は、パッチの前面に塗ります。パッチを当てる部分もパッチの大きさより1mm程度はみだすように塗りましょう。接着剤は乾くと透明になります。折り返す部分には2センチ塗ります（1センチ折り返す）。薄い生地の場合は折り返し幅は3mm（接着剤は6mm）とします。このように接着剤を塗る幅は場所、用途ごとに厳密に決まっています。定規などを当てながら丁寧に素早く塗ります。接着剤は最初白ですが、乾くと透明になります。接着剤を最初に塗るとすぐに透明になります。このときに、塗り残し部分があるときは再度塗ります。塗り残し部分は絶対に作らないようにします。

※クリーナー・接着剤は吸うと身体に害を及ぼしますから、作業スペースの換気をよくし、またマスク・手袋をして作業にあってください。



乾燥させる

接着剤を塗ったら24時間乾燥させてください。接着剤は乾くと透明になり表面が乾きます。接着剤が塗られた部分に粉や汚れ、手垢が付くと接着力が著しく落ちます。作

業中は接着剤が塗られた部分にサランラップを貼り付けるなどして汚れが付かないよう厳重にしてください。写真のようにホームセンターで売っている金物やクリップで工夫して、塗った場所がくっつかないようにしましょう。万が一くっついたとしても、接着剤が塗られた面同士を強く押しつけて貼り合わせないと完全にはくつきません。くっついてしまった場合は接着剤の部分に手垢が付かないよう慎重に離してください。



※ 乾燥場所に火気厳禁です。

ラバー以外の素材について

ファスナーの基布部分など別の素材については、合成繊維ではなく綿 100%のものを使用します。接着面にたっぷり接着剤を含ませて、十分に生地に接着剤をしみこませてください。その後 24 時間乾燥させ、同じ作業をもう一度行います（つまり合計で二度塗りとなります）。これ以外の素材については私どもでは何もノウハウがありませんのでお客様の方で工夫してやるなりやめるなりご判断ください。

## ④接着編

### 強く圧着する

接着剤の塗ってある部分同士を貼り合わせます。印を目印にそっと合わせて、位置があったらゴムハンマーやローラーで軽く押しつけて貼り合わせます。位置がずれたなと思ったらローラーで強く押しついたりゴムハンマーで叩く前に剥がしてやり直します。剥がしてやり直すときに接着面に手垢や汚れが付かないように丁寧に剥がします。位置が問題なければローラーやハンマーで強く何度も圧着します。ハンマーで接着部分を何度も強く叩くとよく貼り付きます。

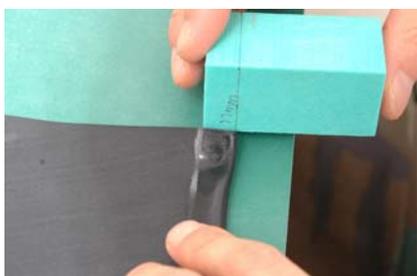


めくれば剥がれるから注意

爪や指などでラバーをめくりながら強く剥がそうとすると剥がれることがあります。接着面に対して垂直な力には比較的弱いのです。しかし、接着面に対して平行な引っ張りには非常に強固に持ちこたえます。ラバーを接着する目的は着用するコスチュームを作るためです。着るときに剥がれなければ問題ないわけですから、必要もないのにめくって剥がすようなことはしないようにお願いします。万が一剥がれたらハンマーで接着部分をたたき直すとくっつきます(つかないときはノリ塗り、乾燥からやり直します)。

接着したらよれよれになってしまった

裾の折り返しのときに、接着したあとよれよれになってしまうことがあります。これを防ぐためには、どうすればいいでしょうか？ 折り返す幅は 0.6 ミリの生地なら 1 センチ程度、0.35 ミリの生地なら 3 ミリ程度とします（それ以上だとよれることになります）。運指にも注意しましょう。左手の人差し指と中指でラバーを折り返して仮押さえします。そのときに写真のように、折り返し幅が分かるゲージを置くとよいでしょう。

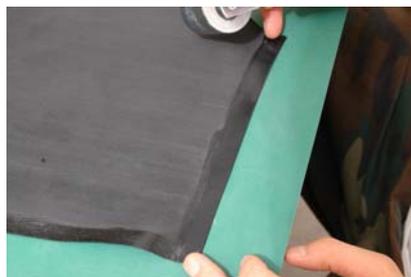


左手の 1～2 センチ後ろ（右の方）から、折り返し部分がずれないようにローラーを左手に向かって丁寧に圧着しながら慎重に

動かします。



左手の押さえと、ローラーの動かし方は絶妙な職人技が要求される場面ですので、一からコスチュームを作ろうとされる方はがんばって努力してください。特別な道具は使用せず、指とこのローラーだけでできる作業です。



おわり

お問い合わせ

[info@alt-fetish.com](mailto:info@alt-fetish.com)

<http://www.alt-fetish.com/>

制作・著作 / ALT-FETISH.com